

航空機密第 五 號

軍極秘

昭和十八年四月七日

五月十二日送付



串本海軍航空隊戦闘詳報第五號別冊第一號

役務	所屬
内戦部隊	大阪敬言備府

0100

串本海軍航空隊戦斗詳報第五號別冊第一號

昭和十八年四月七日

一、情况

(1) 阪警機密第〇七四二〇電

宛串空司令

阪海防指揮官

發 參謀長

汐岬無線ヨリ左ノ情報アリ附近索敵セシメラレ度

一三三四市汲崎敵潜水艦一隻南西ノ方向ニ進ム

四 紀伊防機密第〇七一五〇〇電(受報者串空司令)

一三二〇市汲崎燈台ノ南西三〇〇米ニ於テ新井崎敵潜水

艦ラシクエノヲ探知汪丸三高島丸阿津丸ニ現場ニ急行搜

索攻撃等ニ協力中

(二) 各艇即時待機トナセ

三、天候

七日一五三〇曇 雲量一〇 雲高三〇〇 北東ノ風一七乃至二〇

0101

湾内波浪高シ

右ノ如キ情况ナリシヲ以テ左電ヲ發シ待機ス

宛 改警參謀長 通報 改海防指揮官 發司令

湾内風浪大ニシテ離着水困難ニ付索敵ヲ實施セズ

一六三〇頃ヨリ風浪稍衰ル兆見タルヲ以テ一機發進ニ決ス

發串空司令 宛 改警參謀長

改海防指揮官

風浪稍小トナリタルヲ以テ索敵ヲ為一七一五一機發

二 命令

(1) 新井崎、市江崎 灯台、南西三〇〇米ニ於テ敵潜水艦ヲシキモノ

ヲ探知捕捉中ナリ

(2) 飛行機、敵潜水艦ヲ搜索攻撃スルト共ニ友軍艦艇ヲ誘導ス

三 經過

編制

零水串第三号機	中尉 荒木泰彦	偵察員	電信員	兵装
	一飛曹 佐野徳作		一飛曹長 草深睦郎	六番三号爆弾 七七航旋同航

四月七日一七一五三号機ハ右編制ヲ以テ發進シ一七三〇現場着
 市江崎燈台西方一。理園内索敵中。一七四五市江崎、二七五度
 五哩ニ於テ敵潛没潜水艦ヲ察見セルモ一施田後見失ク一七五三ニ至リ
 再ビ敵隊ヲ確認直チニ航法目標灯ヲ投下附近哨戒中、水上艦艇
 ヲ誘導一八。五之ト協力攻撃セルモ暮暗、為敵ノ損害ヲ確認スルニ
 至ラス。二。四。第三高島丸ハ市江崎、二九四度五七哩ニ於テ雷撃手
 (二本)ヲ受ケタルモ被害ナシ。爆雷戦ニテ之ヲ反撃制止ス。

四報告令達

報告

一宛 反警長官

兼司令

反海防指揮官

串空機密第〇七一九四五番電

一七五三索敵機ハ市江崎ニ七五度五理地莫ニ於テ敵機後遂水艦(白
色)方形標識二個所間隔約一。米ヲ察見航法目標灯ヲ投下
更ニ八。五ヲ確認シ水上艦艇ヲ誘導之上協力攻撃セリ海上平穩
透視状況良好

(二) 砲隊警長官 通報 総伊防司令 掃司司令 察 司令

戦斗概報第二号 (四月七日 二〇〇四)

(一) 情况

串空機密第七一九四五番電通

(二) 投下爆弾六番二号 一 第一弾直上 第二弾効果ナシ

三三掃二隻 第一航過爆雷攻撃ハ二発三。米以内 三發一。〇

米以内ニシテ効果大アリシト認ムルモ暮暗ニ為被害ノ状況不明ナリ

(三) 今夜水上艦艇ハ全カヲ察シテ監視制圧ヲ要スルモノト認ム

飛行機隊ハ明日。五三。ヨリ全カヲ察シテ之ヲ撃滅セントス

(四) 受領セル命令

宛 阪海防指揮官

通報 海軍次官

兼 阪警長官

串空司令

軍令部次官
横鎮長官

電令作第八號

四月七日二。三。

(1) 本日一七五三市江崎、二七五度五理ニ於テ哨戒機ハ敵潜水艦ヲ
確認附近哨戒中、艦艇ト協力シテ之ヲ攻撃相當ノ損害ヲ與ヘタ
ル見込

(2) 海面防備部隊ハ同指揮官ノ定ムル處ニ依リ今夜敵潜水艦ノ搜
索攻撃ヲ行フヘシ

(3) 航空部隊指揮官ハ明早朝市江崎ノ東西線以南ナルベク廣範
圍ノ索敵ヲ實施スヘシ

第二日 昭和十八年四月八日

(1) 計畫

市江崎西南方海域ヲ五哨区(A B C D E)ニ分テ各一機ヲ配シ
徹底的搜索ヲ實施ス。以後一機受持区域倍加シ遂次

搜索区域ヲ西南方ニ擴大ス

(12) 編制

使用機	操縦員	偵察員	電信員	兵装
零水車空第一梯機	長尾市弥	佐野徳作	別所孝	各機
全 右第三梯機	▲荒木泰彦	▲夏梅俊男	▲草深睦郎	六番爆彈 二
全 右第一梯機	▲澤田安正	▲少道場吉男	▲栗屋莫芳	七七耗施回機銃 一
全 右第三梯機	▲高橋興市	▲仲楚勝之助	▲青柳博	
全 右第五梯機	▲荒木泰彦	▲森山春信	▲片岡孝一	
全 右第八梯機	▲北村義雄	▲芝原正敏	▲福葉市造	

(13) 天候

○五。○ 細雨 南東風二米 雲量一。雲高二。視界五杆

○六。○ 雨

全

右

一二。○ 雨

西風

一米雲量一。雲高一。視界三杆

一六。○ 曇

北西風

一米雲量一。雲高四。視界一五杆

(14) 命令

敵潜水艦昨日夕刻飛行機艦艇攻撃ヲ加ヘラレタルモ重大ナル損害
ヲ被ラザル如ク昨夜二。四。市江崎、二九四度五、七、渾ニテ味方艦艇
ヲ襲撃セルモ成功セズ引續テ制圧セラレシマアリ
各機ハ所定哨已綿密ナル搜索ヲ行ヒ敵艦攻撃艦艇誘導ニ任ズベシ
の経過

○五三。 細雨 視界不良、為先ツ零式水偵ニ機群進

附圖第一 A B 哨已、索敵ヲ實施セシモ天候次第ニ悪化セル為

○七。 搜索ヲ止メ歸着ス以後降雨激シク視界極メテ不良、為

待機中、旭一六。ニ至リ天候稍回復セル為六機ヲ以テ附圖第二ノ

哨已哨戒ヲ實施セドセシモ風力次第ニ増大シ来リタル為零式水四機群進

附圖第二 A B D E 哨已、哨戒ヲ日没迄實施セルモ敵ヲ見ズ海上北々

西風一五米透視困難ナリ

各機行動經過次、如シ

第一日(第一回)

荒末機

一七五 飛進 一七三。現場着 市江崎灯台西方一。埋圈内ヲ
索敵中一七四五市江崎、二七五度五湮、地矣。於テ敵潛没潜水艦、
白色方形標識二個所間隔約一。米ヲ飛見セルモ直チニ見失フ
一七五三再ビ敵ヲ飛見之ヲ確認航法目標灯ヲ投下附近水上艦
艇ヲ誘導之上協力攻撃セリ 一八。五爆撃ヲ開始 第一彈
直上 第二彈水上艦艇ヲ考慮セル為効果ナシ 第三掃海隊、
第一爆雷攻撃一八。四開始一八。二飛三。米以内 三飛一。米以
内ニシテ効果大ナリシト認ムルモ暮暗為効果ヲ視認シ得ズ 一八三。
帰着

第二

佐野機 (附圖一 B 区)

○五三。飛進 附圖第一 B 区 搜索ニ向ヒタルモ距岸七哩以上ハ兩為
搜索スル得ズ 視界良好ナル箇所、哨戒ヲ実施スルモ次第ニ視界狭
小ナル為 ○六二五索敵ヲ止ム ○六四五帰着

荒木機 (附圖一 A 区)

五三二 斧進 附圖第一 A 区ヲ索敵セルモ天候不良(雨)ニシテ視界狭小トテ充分ナル索敵ヲ実施シ得ズ。七。五 哨戒ヲ止ム。七

二五 帰着

道場機(附圖二 A 区)

一六。 斧進 一六二。現場着 所定哨区ヲ索敵セルモ異状ナシ

二八三。 帰着

高橋機(附圖二 E 区)

一六一。 斧進 所定哨区ヲ索敵ヲ実施セルモ異状ナシ 一八二。 帰着

荒木機(附圖二 D 区)

一六一五 斧進 所定哨区ヲ索敵ヲ実施セルモ異状ナシ 一八三五 帰着

笠原機(附圖二 B 区)

一六二五 斧進 所定哨区ヲ索敵セルモ異状ナシ 一八二五 帰着

五 消耗兵器被被害

消耗兵器 六番二号爆弾 二

味方被害

六成果

天候障害ヲ受テ撃沈スルニ至ラザリシモ至近彈依リ相當損害ヲ
與(得タルモノト認ム)

七功績

敵ノ企圖ヲ封殺シ相當恐慌若ハ損害ヲ與ヘ受持海面防備ニ鉄壁
ノ陣容ヲ示シ敵ノ心膽ヲ寒クシタルハ功績極メテ大ナルモノト認ム

八所見

(一)串本海軍航空隊無線通信施設人員補充ヲ要ス

理由 當隊無線通信施設ハ派遣隊基地トシテ計畫セラレアリ

現在電信員八名(定員一〇名)短移動電信機二組 九二式特受

信機三組ヲ裝備シ對飛行機通信、對反警戒防、二通信系

東通第二放送及氣象電報待受ノミテ人員兵器共全ク餘

裕ナク哨戒部隊ト直接交信不能ニシテ哨戒部隊得タル敵状、

通達ニ長時間ヲ要シ戰機ヲ逸スル憂アリ、差シ當リ電信員五名

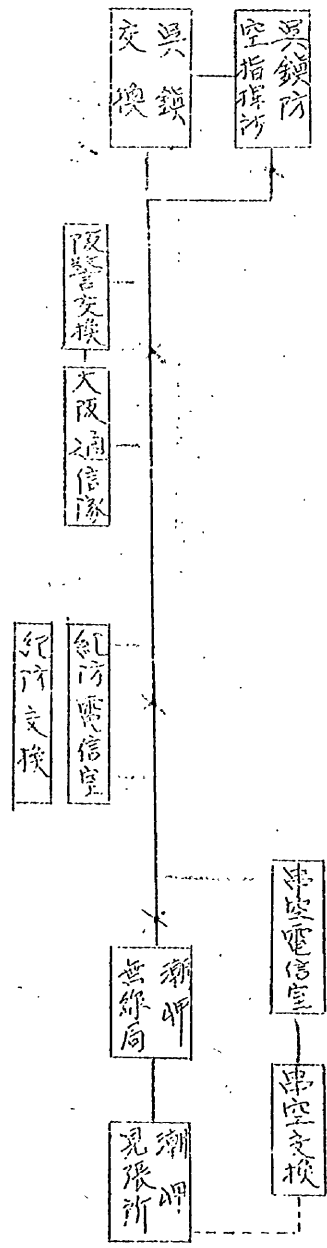
送信機一組 受信機二組程度ヲ補充セバ阪海面防備部隊ト、

直接交信及熊野灘部隊ト通信可能ニシテ哨戒実施上極ク有
利ナリ 今田市江崎附近ニ出現セル敵潜水艦索敵攻撃隊ノ例
ヲ取ル新井崎ノ敵潛探知第一電新井崎機密〇七一三三番電
不達ノ為紀防機密第〇七一五〇番電依リ敵状ヲ得タリ當時
北東ノ風ニ米程度ニシテ湾内波浪高ク飛行機飛進不能ナリ爲
一七〇風浪稍衰ヘルヲ待テテ一機飛進一七四五敵潛ヲ発見一時
見失ヘルモ一七五三ヲ確認水上艦艇ト共ニ敵ヲ攻撃セルモ薄暗ノ為効
果確認及攻撃續行困難ナリ一機沈ヲ確認スルニ至ラス本経過
ニ依ル天候普通ニシテ新井崎ノ一番電ヲ航空部隊直了シ居ラバ敵潛
ヲ夜暗ニ至ル前撃沈シ得タルト確實ニシテ哨戒部隊ガタ刻近ノ敵ヲ
発見セル場合等ヲ考慮セバ無線施設如何ガ戦機ヲ把握シ得ルカ
否カノ分ル處ニシテ今後紀伊水道風浪静マリ敵潛ノ活動活潑ニテ
ラントスル時是非共首尾施設人員ノ増備ヲ要スルモノト認ム

四串監——紀防間有線通信施設変更ヲ要ス
阪警機密第七號二六一ニ依ル既設市外軍用有線電話布設要

0111

領變更情報戰況速報並通信連絡上極メテ必要ニ付テ該線末
 端ヲ夫大阪通信隊紀防電信室串空電信室トシ(尤番参照)
 有線電信ニ主用シ得ル如ク至急實施ヲ要ス



既設線

變更増設可成線

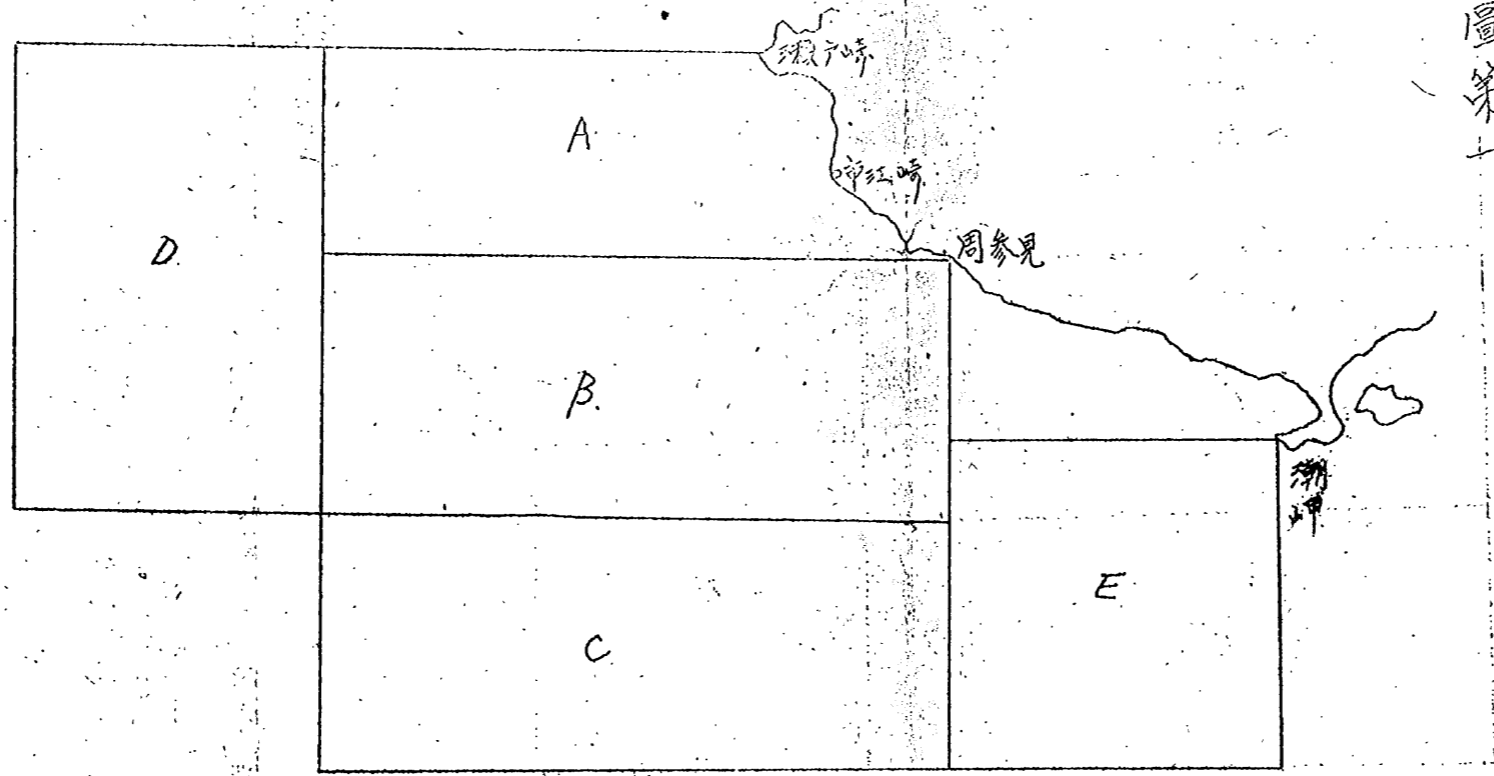
* 廢止

十七年艦本機密第三号

一三二五二通線ニ依リ

三 敵潛艇見攻撃時等分隊部隊幹部ヲ集メ研究會ヲ開ク要アリ
 今回經過等ヨリ見ルニ被檢スル處極メテ大ナルアリト認ム

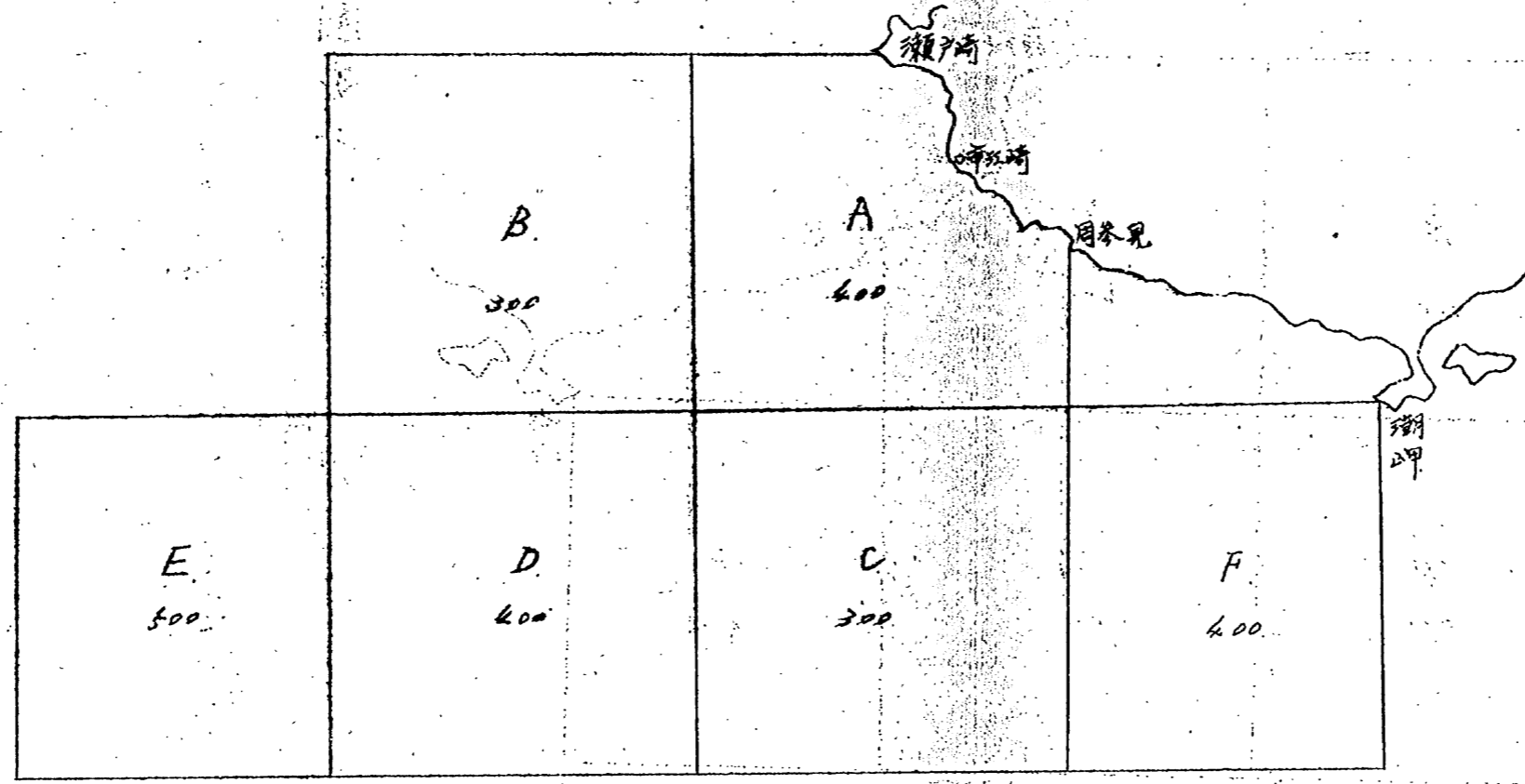
7



附圖第十

110

附圖第二

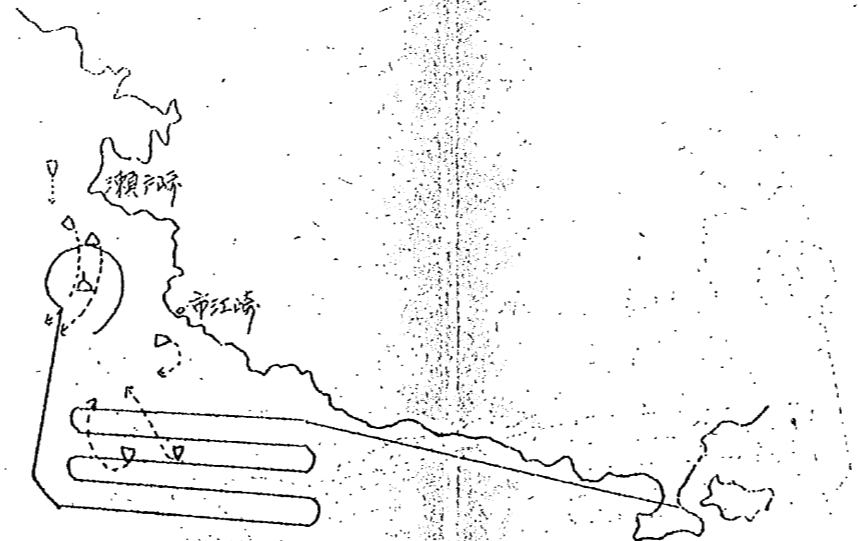


0114

Jw

附音第三

四月七日串空三號機行動圖(一七五三關係位置)



潮岬 離水 1717
着水 1827

曇々 視路為不良
90度 4米
天候 視透 風向 風速

- 一七三。戰場到達
- 一七四。白色標識二所間隔一〇米發見セルモ直下
- 一七五。再々發見目標灯及目標彈投下
- 一八〇。四三掃二隻爆雷投射
- 一八五。爆撃
- 一八二。戰場離脱

北中津
三掃

海軍航空部 昭和十八年度

500000